

# 生徒指導通信

令和8年4月27日  
熊野町立熊野東中学校  
生徒指導部

## ～スマホがなくても、確かな“つながり”を～

新しい生活が始まって1か月。クラスの仲間との距離が縮まり、交流を深めている人も多いでしょう。実は中学生の1学期は、スマホ等でのSNSのトラブルが最も起こりやすい「ピーク」の時期でもあります。SNSという便利な道具を「やりきる力」で正しく使いこなすための心構えを確認しましょう。

### ■学校としてのスタンス：スマホは「不要物」です

まず再確認したいのは、学校としては、皆さんにスマートフォンの所有を勧めているわけではないということです。

#### 教育活動に不要

- ・本校の規程では、スマートフォンや携帯電話は「教育活動に不要なもの」として、学校への持ち込みは一律禁止されています。

#### 持ち込まないのが当たり前

- ・万が一、校内で所持が確認された場合は、学校で預かり、保護者に返却・指導を行うこととしています。学校は、直接顔を合わせるコミュニケーションを学ぶ場所です。

### △あなたのグループLINE、大丈夫？

#### 「仲間外れ」の道具になっていませんか？

- ・特定の生徒をグループから出したり入れたりする、あるいは「超仲良しグループを作った」と全員がいる場所でわざわざ宣言し、招待されない子にショックを与えるといった行為は、相手を深く傷つけます。

#### 「悪口」や「誹謗中傷」ような内容が書き込まれていませんか？

- ・対面と違い、文字だけのLINEは感情が伝わりにくく、冗談のつもりが悪意として受け取られる「すれ違い」が起こります。慣れによる「これくらい大丈夫だろう」という甘い考えを捨て、「相手はどう受け取るか」という想像力を最後まで働かせることが重要です。

#### 「通知の嵐（スタンプ連投）」

- ・おふざけやスタンプの連打で、1日に1000件もの通知が届くケースがあるようです。これは相手の勉強や睡眠の時間を奪う「迷惑行為」です。

#### 「スクショ拡散」は重大なルール違反

- ・1対1のやり取りをスクショして他のグループに晒す行為は、プライバシーの侵害や名誉毀損にあたる場合があります。



## ☑ SNS (LINE) は「ほどほど」でいい

SNSは24時間どこでも繋がれる便利な道具ですが、逃げ場のない「閉鎖的な空間」になりがちです。

### 「既読スルー」を恐れない

- ・絶え間なく届く通知にすべて返信しようとする、生活リズムが乱れ、心も疲れてしまいます。ときには「見ない」「返さない」という勇気を持ちましょう。

### 「抜ける」勇気も大切

- ・もしグループLINEのやり取りが苦痛なら、無理に居続ける必要はありません。そっと距離を置いて自分の時間を守ってください。

## 🔊 困ったときは、すぐに相談を

SNSのトラブルは、放っておくと「ネットいじめ」に発展し、逃げ場がなくなってしまう。少しでも「怖い」「嫌だ」と感じたら、すぐに保護者や周囲の大人に相談してください。証拠として、やり取りのスクリーンショットを保存しておくことも大切です。

## ★大切なことは「直接」伝えよう

文字だけのやり取りは、表情や声のトーンが伝わらないため、誤解を生みやすい特性があります。大事な決め事や大切な相談は、LINEではなく、学校で直接会って話しましょう。目の前の仲間と、元気な挨拶（礼をつくす）を交わすことから。SNSに頼らない「確かなつながり」をみんなで創っていきましょう！👉



## 【保護者の皆さまへ】

学校としては、SNSでのトラブルが学校生活に支障をきたさないよう、スマホの所有や利用を推奨していません。お子様が「みんな持っているから」と言っても、それが必ずしも全員ではないことをご理解ください。もし所有されている場合は、ご家庭の責任のもとで厳格な利用ルール（時間、場所、内容の確認）を設定していただきますよう、強くお願いいたします。